

競技実験マネキン製作

山形

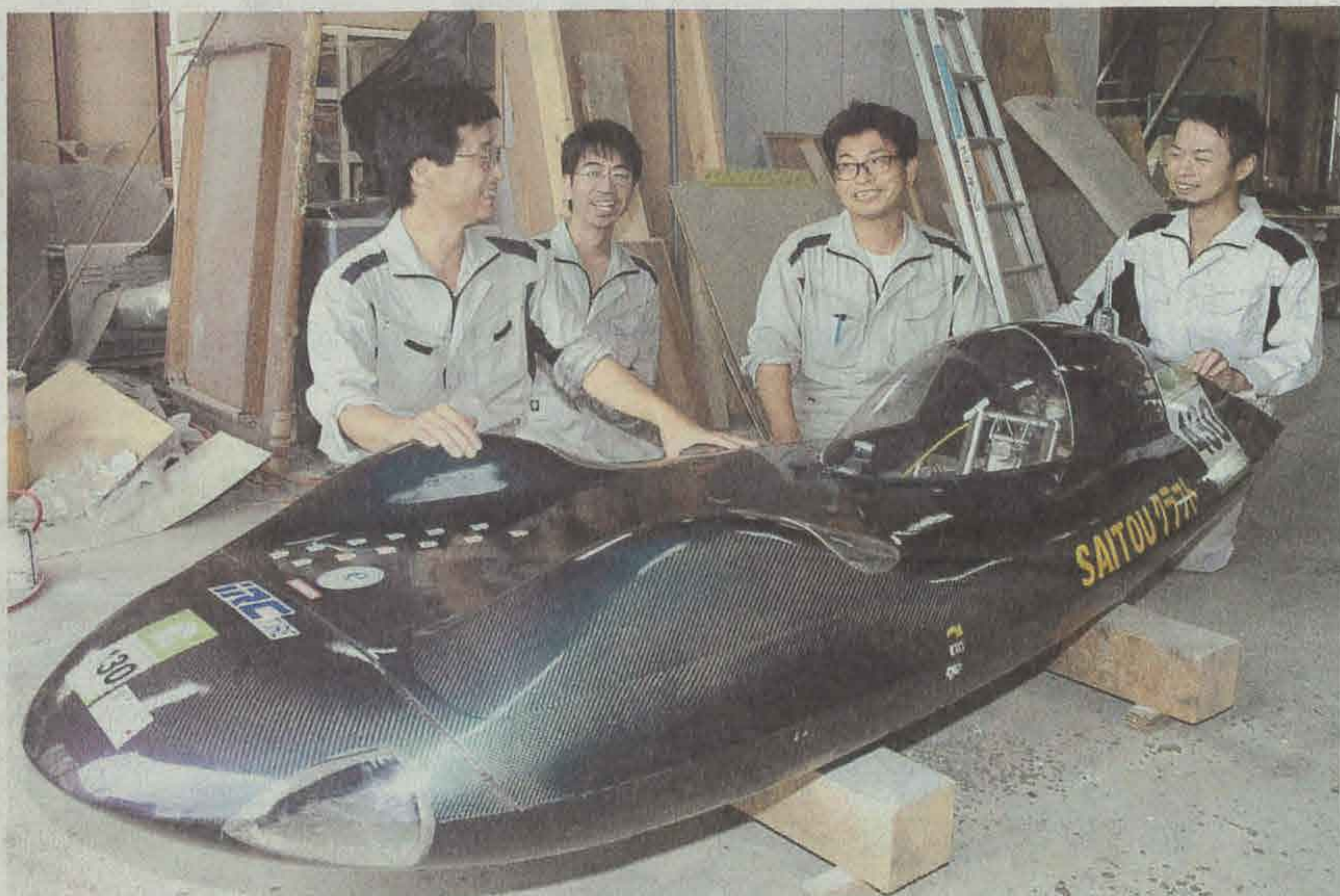
板金塗装や電気自動車製
造を手掛ける山形県中山町
の斉藤クラフト（斉藤秀雄
社長）。培った自動車分野
の技術を生かし、スキーの
競技力向上に向けた実験用
マネキンの製作など、新た

な分野でビジネスチャンス
を広げている。

1992（平成4）年に創
業し、現在の従業員は3人。
小規模ながらも本業以外に
カーボンファイバー（炭素
繊維）製の扇子などさまざ

まな製品開発を請け負い、
近年は山形大や筑波大から
実験用具も受注する。

例えば2013年に開発
した、スキー・ジャンプの
飛び出しから着地までの姿
勢を再現できるマネキン。
最適なウエアや姿勢を探る
風洞実験に使用されている。
電気自動車のボディー
に使う繊維強化プラスチック
製で肩や股関節など14カ
所が動く。完成度は高く、
アルペンスキーなど他競技
のマネキンの注文にもつな
がっている。



省エネカーレースに参戦し、自動車分野の技術力向上に努める斉藤クラフト。写真左が斉藤社長＝中山町

毎年、省エネカーレース
に参戦し、本業のレベルア
ップも欠かさない。昨年、
ガソリン1リットル当たりの走行
距離を競う全国大会の一般
クラスで1793・812
キロを記録し、過去最高の4
位に輝いた。斉藤社長は「今
後も本業を大事にしなが
ら新分野に挑戦したい」と力
を込めている。（山形新聞）